

戦後山口県における薬草栽培

館員 真木奈美

はじめに

- ・山口県と薬草
- ・1950年代の薬草栽培…背景と目的は？

1 アメリカアリタ草とは？—「アメリカアリタ草栽培の葉」から—



▲「薬用植物栽培採集一件綴」(県庁戦後A衛生部147)に綴じられた「アメリカアリタ草栽培の葉」

2 山口県による栽培奨励の理由①駆虫薬の確保

- ・第二次世界大戦後の寄生虫症の流行

【表】山口県における寄生虫卵保有率(昭和23年/1948)

	被検査人員(人)	寄生虫卵保有者数(人)	被検査人員に対する百分比(%)	投薬人員(人)
市部	35959	23070	64.16	16012
町部	8517	5569	65.12	4808
村部	43199	26781	62	24672
合計	87675	55420	64.12	45492

出典：「寄生虫予防対策委員会一件」(県庁戦後A衛生部145)

- ・ 駆虫薬(寄生虫駆除薬)の需要増加と確保

3 山口県による栽培奨励の理由②農家収入の向上

- ・ 栽培奨励の趣旨と展開—戦後開拓地を中心に—

おわりに

【参考文献】

- 井上弘樹 (2016) 「台湾における寄生虫症対策と日本の医療協力」(一九六〇年代から一九七〇年代) 『史学雑誌』 第125編第8号, pp. 61-87
- 井上弘樹 (2022) 「寄生虫症対策をめぐる歴史学：20世紀後半の日本と韓国」『第21回日韓歴史家会議報告書 伝染病と歴史』 pp. 108-119
- 岡田良一 (1931) 『寄生虫予防ニ関スル調査報告 上巻』 内務省衛生局
- 影井昇・林滋生 (1999) 「日本における寄生虫病のコントロール」大鶴正満・亀谷了・林滋生監修『日本における寄生虫学の研究 第7巻』 目黒寄生虫館, pp. 647-648
- 河村克典 (1982) 「山口県における戦後開拓地の成立と変貌—防府市の開拓地の場合—」 『エリア山口』 第12号, pp. 6-13
- 小泉和子 (2008) 「都市にみる家庭看護の最盛期」小泉和子編『家で病気を治した時代』 農山漁村文化協会
- 小泉丹 (1950) 『蛔虫読本』 中央公論社
- 五島淑子・小山修三 (2013) 「『防長風土注進案』に記載された薬草」 『山口大学教育学部研究論叢』 第63巻, pp. 95-103
- 農林水産省 (2024) 『薬用作物(生薬)をめぐる事情』
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/yakuyou/attach/pdf/yakuyou-39.pdf>
- 森下薫 (1961) 「日本における寄生虫学発達史」森下薫・小宮義孝・松林久吉編『日本における寄生虫学の研究 第1巻』 目黒寄生虫館, pp. 1-29
- 安永真 (2018) 「山口県における薬用作物栽培の取り組みについて」 『JATAFF ジャーナル』 vol. 6/No. 12, pp. 40-43
- 柳澤雅之 (2020) 「江戸時代のシナモン受容と伝播—諸国産物帳の分析から—」 岡田雅志・柳澤雅之編『アジアの薬用植物資源の生産・流通・利用の歴史に関する学際的研究—シナモンがつなぐベトナムと日本—』 CIRAS Discussion Paper No. 97, pp. 17-27
- 山岡傳一郎・伊藤隆・浅間宏志他 (2017) 「生薬国内生産の現状と課題」 『日本東洋医学雑誌』 vol. 68 No. 3, pp. 270-280
- 山県恂 (1956) 「山口県大島郡の薬用植物」 『山口大学農学部学術報告』 第7号, pp. 509-534
- 山口県薬剤師会 (1973) 『山口県薬剤師会沿革史〔付〕防長の「くすり」の歴史考』